

『小谷場貝塚と上谷沼調節池』～さいたまの海、3000年前の干潟を想像してみよう～

平成30年10月28日(日)
さいたま支部ペガサス分団

浦和は大宮台地の南端にあります。その20km先には東京湾があります。約3000年前、その海が台地の目の前に広がっていました。当時は気温が今よりも高く、地球上の氷が溶けて海面が今よりも高かったのです。上谷沼周辺の現在の標高は台地が約15m、低地が約5m、その差は約10mです。当時の人々は台地の上に住み、海の恵みを受けて暮らしていたようです。その痕跡が貝塚です。海の貝を食べた後の貝殻を捨てた場所が貝塚と呼ばれて残っています。さいたま市周辺の台地の縁には多くの貝塚がありましたが、開発によって多くが失われてしまいました。

今回のコースは、上谷沼調節池とそれを挟む西側の小谷場の台地と太田窪の台地で、秋の自然観察を行いたいと思います。秋も深まってきたこの季節、台地の樹林では木の実が、低地では草の実が、それを食べる鳥も多く見られます。

太田窪の台地上には、鎌倉時代の武将、佐々木盛綱が源頼朝の挙兵に応じて1180年頃に築いた領ヶ谷城跡があります。盛綱の弟の高綱は、宇治川の戦いで、源頼朝から送られた名馬「池月」で先陣を切った武将として知られています。また、盛綱の子孫は室町時代に浦和の調神社の社殿を再建したといわれています。

- 1 期日 平成30年10月28日(日)
↑ 雨天、雪、交通事情の混乱の時は中止します。
- 2 集合 南浦和駅東口階段下付近 午前9時30分
- 3 解散 同上 午前12時頃
- 4 自然観察ウォーキング 全行程約4km
南浦和駅→小谷場貝塚跡→上谷沼調節池→領ヶ谷城跡→南浦和駅
天候などにより、当日になって行程を変えることもあります。
- 5 持ち物
雨具、セロハンテープ、持っていれば双眼鏡
- 6 その他
 - ・ペガサス分団活動は参加人数を把握して資料を用意する関係上、事前の申し込みをお願いしています。
 - ・小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします
 - ・途中で先に帰る場合は年齢にかかわらず保護者の方の付き添いをお願いいたします。
 - ・団体行動です。1人で行動してはいけません。1人のときはリーダーに行ってもらいましょう。
 - ・危険なもの、まわりに迷惑をかけやすい物(刃物、ライター、モデルガンなど)は、もってこない。
 - ・天候、交通事情、団員の健康状態等で予定を変更することもあります。